



2019年10月31日

各 位

会社名 川崎近海汽船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 赤沼 宏
 (コード番号 9179 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 佐野 秀広
 (TEL 050-3821-1334)

2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年4月26日に公表しました2020年3月期第2四半期累計期間業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2020年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想との差異
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,400	1,050	1,050	750	255.48
実績(B)	22,505	1,444	1,398	1,086	370.21
増減額(B-A)	△ 894	394	348	336	—
増減率(%)	△ 3.8%	37.5%	33.2%	44.9%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	22,197	681	760	896	305.54

2. 2020年3月期通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,900	1,550	1,550	1,000	340.65
今回修正予想(B)	45,000	1,900	1,850	1,450	493.94
増減額(B-A)	△ 2,900	350	300	450	—
増減率(%)	△ 6.1%	22.6%	19.4%	45.0%	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期通期)	45,734	2,005	2,047	1,697	578.15

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、近海部門では、運賃市況が想定を下回ったことなどで売り上げが減少し、収支は予想をやや下回りましたが、内航部門では、フェリー輸送で大型連休中の旅客と乗用車の乗船が想定を上回り、定期船輸送でも運航船の入れ替えが各航路で奏功したことや燃料油価格が想定を下回ったことなどもあり、営業利益、経常利益は前回発表予想を上回る結果となりました。また、船隊整備の一環として内航船1隻を売船し、固定資産売却益を計上するなどした結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回発表予想を大幅に上回りました。

通期業績予想につきましては、2020年1月から適用されるSO_x規制に伴い、新たに使用される適合油の価格を最新の情報を基に見直した結果、燃料油価格に連動する燃料調整金収入の減少もあり、売上高は上記の通り減収を見込んでおりますが、営業利益、経常利益につきましては、各部門とも略期初の予想並みに推移するものと予想し、上記のとおり修正いたしました。

なお、修正にあたり前提条件を次のとおりに見直しております。

「第3四半期以降」為替レート：1ドル＝106円（前回公表時108円）

燃料油価格：59,100円/KL（前回公表時71,300円/KL）

（注）上記の業績予想は、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上